政府支出を抑制

節約に關し小倉藏相談話

主権は一般を計において八

げ閣議で決定した、そ

に躍し、これを前年

隊銃關機獨るせび浴を射猛に軍赤

「嚴冬將軍」も期待薄し

英光溢訴切實

限制無 援請の時即

真心を

最

新刊

ペンに託

2

池 蒴 個ソ戦は二十二日をもつて途に関

【ニュー ローク二士三日 同盟】

全線で交戦器

長期戰化必至點

及ふ戦線は高々その創怨の

ソ聯大使、英京で演説

|皺してをりり歌、アルガリヤ歌突は不可愛と信ぜられる言殿じてゐる、ほしアルガリヤ歌の北上アルガリヤ歌はタニュルア河方歌に励つて大嶽北上しつ、あり、各意色には二下四日皇朝來鎮隊 してソ職を目標とするものか否かはソ、鄧麗國が少くとも陸略において接觸してをらぬ關係上裏相の

く 短続しつ A あるもの A 延く、一下四日ユービーアンカラ電は信すべき節の物製として、上四日回居 ソ 翻判およびアルガリヤ南國關係はソ 翻覧のアルガノヤ部干機が問題として、1918年度が関係を対 勃軍大學學是派北上說 労務、確定などの諸動詞針

南戦に影響の近く線球影響的ス勝一西は用端北方より東は午下街近の一頭所に難戦を実験し、腹部の至時、九世島は大街歌に随つてゐる、「〇〇前線基地中四日回慰」和水一艘戦を脱削中のわが複数諸語解は一蹴に至る戦戦〇〇キロにわたって、支援弾して離戦を突みて駆戦し

勃、ソ衝突不可避か

を交じて後二時間万山田地帯に縁起する際四十一、第四十四座師の残骸に對しば攻を加へこれを駆映。秋深を沿南

平井公路の型船撃計市附近で支軍の友成、荷馬、職務諸部隊との四キロの 汨水河戦附近において粉砕したのち、二十四日一颗に西

北部山岳地帯を破竹の歴史を続けてゐる 開始し鶴河、中山、水澤の各部隊は同日年 合計と開

九三十二

續けてゐる で、敢は我が再度の大鐡槌に早くも 反撃の威力を失ひ敗退を一氣に東方へ壓迫しつゝあるが、敵は我が再度の大鐡槌に早くも 反撃の威力を失ひ敗退を一氣に東方へ壓迫しつゝあるが、敵は我が再度の大鐡槌に早くも 反撃の威力を失ひ敗退をび闘王橋東南地區に進出、小橇にも我が南進部隊の後方を 連續せんとの態勢を示し來つたび闘王橋東南地區に進出、小橇にも我が南進部隊の後方を連續せんとの態勢を示し來つた。

友軍連繋に成功、破竹の猛進、原質の正常国際

大の衝撃を興へてをり、桂林来電

日湖南、鷹西および湖南、

は遊越、順種南ル

|香港廿二日同風] 形南作戦にお | 出動せしむることになり、蘆西

展束、廣西に多

の配給が翻されるので、組合の配給が翻されるので、組合

るが、どうやら目

百曹の結成やらに

廣東側 湖南 に援軍

五十八師は總指揮薜岳の徹底的抗戦命令によつで 第五十九、六十兩【中支〇〇二十四日同盟】楊林街、關王橋の線において皇軍精鋭によ

專賣 臺灣總督府

政府設表 本年七旦下五日開源度に英く取得上六年度「蝦島計本よな特別農計廠、和年度、職職職を送り」の郡統節約總額は十三億二千萬圓に達してゐるを行った蝦夷大職省原案通り正式決定、たの城く本年度「蝦島計本よび 各籍刑書計跡出跡が鞭を最衰した、これによるとを行った蝦夷大職省原案通り正式決定、たの城く本年度「蝦島計本よび 各籍刑書計跡出跡が鞭を最衰した、これによると

費をもつて最大の歌郷歌弾につとむるとともに今後とも 時間の概移に助戦し 一獣線動館料の電をあぐるものとす(戦心主闘)にびにその配載および留保の場合はこれが前差の語りとす、配も各省は項下における 政府支出のきはめて巨額なるで駆み高に

純節約額は十三億

會計人億三千輪十四億餘

入契約を結んだ、同僚は目下アメ 一部及びマツクアーサー・アメリカ総外・ A四十B戦ポトの爆魔品艦 【マニラ廿四日同盟】ケソン大統

四百萬ドルに達する双菱中型機能 リカ航空機戦作曹祉と懸額

B廿五穀酸のもので、いづれも職一につき酸職中であるが、一部衛報一地に引返すやう命令したといはれ、ら貨物の職務方を命令したリカ 魔策戦となつてゐる 同社戦 (帝東東司令官は功能院師の職化策)、に對し、11十一日までに至義原駐 (のと見られ、解政撤職は記す)

配氏小様こも徹底抗戦命令

制して一再度の大鐵槌舞線

敵算を亂して敗走中

との私・人ラインといふのとの概を繰りあげてゐる

・ラインで一段落つける

女性が如何に銃後で活躍してゐしてもソ職にしても戦ふ國家の 2の加きは艦兵その他銃後の撃っかは人の知る通りである。 圏 **陽郎、伊太利は勿論、英國と** 通してゐるのは女性である。 器工場の産業戦士として送った

衛務の調整が東西共築廠建設

的勞務は勿論のこと、生産、交

週、交化の凡ゆる部門が女件に 似つて渡られてあるのである。

十八年度豫算節約

---閣議決定

蘭印、空軍を擴充

要地固守を嚴命

狼狼の敵 緊急軍事會議

米から爆撃機購入

勿論、女子の本館である意家の の师き獣风質が無へられてゐる とのため、時勢を識り自らと

男尊女卑の思想は、風 しまったの機能 半島の過去におけ 0000

が一際に男子を扶けて起っとい ■よどもなく人時の半分は船

力の劣性を担信考慮に容れてし 亞の概念として要識せられ、同として、その産業的發展は全東

悪雲を脱げ切っては

ない。 には相当の期間を要することは発

生態が人が官に歌歌して迎っと れる。而して斯く歌しる場合、 れる。而して斯く歌しる場合、

ある生産力の形だ、その他國

脱起を促すべきだし、同時に干 て國民皆勢に起っべきである。 は今こそ 「留文戲總書園河畔にて二十四上回風』祭』、総木、北郷の冬。『江書園町五六十キロ》に架入これなとまらなく謎館の観念を観行、11千四日・電台画子七分系動・『新書西田五六十キロ》に架入これな響の附近一帯を描述中である

カ極東軍への職入は兵舎その他の

の素質がよくないのでその再教育 跡と見られる。たどし整備兵

非占領地への

部では、世二日温暖機能統計の名。これによって甘五日以後は華人の部では、世二日温暖機能統計の名。これによって甘五日以後は華人の 國府總税務司から布告

移出を禁止

殿、さらに反轉して南王圧の

三日も全概にわた 受難した 受難は空中臓にお を影響、また飛行

島崎藤村

warming the day

全作名代三

一/三通照標本日市京東 目文 第二〇八〇一京東著語 蘇茲 房書出河 皇書

ならって九月廿五月以後上後より 手による錦糸市その他あらゆる題 支那年山麓地區の職主た仕事市に 品は非山麓地區への寮田は禁止とむけば南日で 品は非山麓地區への寮田は禁止と 手による織糸市その他あらゆる路

張夏大佐以下

更迭專賣局長官

刊與不田獨步集界民態要目,漱石集界及

内容 見本 進星

残敵潰走 杭線西側の

> ○三千一日整御二、小銭五五四、八十四名(中将校八十九名)は去 監査が危機々長場夏大佐以下七百

後任に山田 (東京電話) 製度部を記む日数春 氏は今回報送し日戦の取締を記載 では後代戦闘語に対応で、大磯省 では後代戦闘語に対応で、大磯省

側敵を

急追(輪線)

赤坳埠奪取、附近掃蕩中

長一名、貨幣受二名の戦死を初め 以來松尾、能響、職場各部隊によ 仇州間) 西側に (層) まする 歌第六十 れてゐたが、職は大隊 盟」黎州孫前主艦の昭上六使 同盟」海机線(上海)その他監督多数を構べてわが〇〇

日の別議に附端安全 日にの証く教令される 東電局改良(建一) ・ 中で記念をできれる 東電局改良(建一) ・ 中で記念をできれる 東電局改良(建一) ・ 中で記念をできれる 東電局改良(建一) ・ 中で記念をできれる 東電局改良(建一) ・ 中で対局をできれる 東電局改良(建一) ・ 中で対局をできれる

駐土獨大使歸任

· 良官 花田 政眷 ·

われら如何に生くべき 長耳國漂流記

大江賢次著 億一八〇十二一 中村地平著 億一八〇十二二

四座方は戦キロ

百を殲滅三 山東中部の

國中のバーペン駐トルコ獨大領

比島全豫備兵

山田の諸部隊は双一つ岩本、杏、森田、 橋、廿四日早朝

温罗 山西方に敵略を団働した各部隊は

ルに開出した、同大便は削

岡靜

雄著(遺稿) [最新刊]

※、食物は、化粧品などの減物が

各所に経大なる戦果を収めつくあしない

中国日の閣議で決して、 ・ 一型では、 ・ ででして、 ・ ででして

に注く要港アストラハン港港と開方プォルカ河が最高注く河口アルハンゲルスク 機和設康はるカザ

イン イン 「職才性概であらうか

|別のため東上中(貯銀頭取) 全國貯 解級機裁)東上中

シュブランガー著 土井竹治譯

タキトウス著 鞍場田中秀央・泉井久之助共譯

験ゲルマニーア

- 三七京東省版) 基河 鉄 属 田 神 市 京 東 書 江 刀

取時**不獨多國民生活指導**尾高豐作課編 點:剛門難用

天誅組罷通る B 6 判・三三四員 定價一個五十錢

①三九三京東西県・川石小京東 版社談講會辯雄本日大

丸善アナナンキ

ATHENA

戰線

!

著 寬

(東京原語) 生系の製汚験出際止い、糸年度における機能生系の製売輸出、阿和十大生図 日本の一番がある。 農林館では二十に製造するため、農林館では二十に製造するため、農林館では二十に製造するため、農林館では、一番の場合を表現している。

業と通信事業の技術者或は兇務の男子で工業、鑛山業、土木のの男子で工業、鑛山業、土木のの男子で工業、鑛山業、土木のの男子で工業、銀山業、土木のの場合は、

酒類統制再强化地域的な偏在排除に

十一月一日から實施か

土建工事は順調に進捗勤労報國運動が徹底し

豫定工事結氷期迄に完了か

鮮銀勞急膨脹

年末七億圓に肉薄か

對米輸出の 生糸減産

來月一日から實施か

鐵銅回 收と長期戦 田祥男

餘に弱する標本声 ンニ論ニ民ニ 船番井伏野三 ▶日本風景論(= 哦) ▼小さんの對談(京編) 東洋文 香港の世格

十月號 一定円價

が任命され正式

愛嬌事京城支

岩長橋湯野雄朗楼

日米經濟外交論・蘆野弘

作物を増收プラウ農法採用

▼世界再編成と日本・平 貞 蔵▼國民消費生活の再建・木村福八郎 ▶増稅問題の理論・高木器一 歐洲大戰支那事

できたが、一世と 無代點

結核を根

仝畑と現賃…正宗白鳥映画國家管理津持奏夫 一二浦梅園……三枝博青戲曲砂 の 上久保田万太郎三浦梅園……三枝博青戲曲砂 の 上久保田万太郎 と 建 築…星野昌一小説見 えざるもの阿部知二 な 襲 と 建 築…星野昌一小説見 えざるもの阿部知二 平和手段の限界…川田秀惠小説菜 草・園 岩倉政治

實。根據 土井衛

職·業·野·球

夕刊後の市況
→ 川澤生系後場大引
→ 川澤生系後場大引
・ 川澤生系後場大引

最後の 思想報國。道:田邊元

黑鷲勝つ戦

十月號

石门

火花散る熱戦譜

體育會いる臨戦態勢

金國的行事は政府が主催

神論(神紀)3、宮神論(神紀)3、宮神論(神紀)3、宮神紀

七分四二秒六)2、滬縣(高領博、荒井通碑

拳闘界の登龍門 第三回新人アマチュア戦

何手洗宣傳部長 今**6**

非常に貼り駆く文館郷が仕事に通一の回魔が速いといふほどの機能機「すが非常に機能が工事で往原力の「中るといるやった特徴があって、「臓でありますが、これを駆立てる」要ること、、「危険の呼ふことと、

それから機能に願する仕事で樹飾

的,我们的一个,我们的一个,我们的一个,我们的一个,我们的一个,我们的一个,我们的一个,我们的一个,我们的一个,我们的一个,我们的一个,我们的一个,我们的一个,我们

今日の發言者

林勞務課長朝鮮の領 りよくないといふのが一

指導方法如何では

質的にも飛躍

ます。その1、11を申上げると第一一エボックを載するものだと思ふ」は繰り度観光器とくなかついけないといっとことを聞いてなら、いっとことは半態の丁斐中における一寸、所見の器を問ってみる

が、その成績は能るよく今日

皆労の見地から

礼則を變 つよ

眞木職紹所長の叫び

ですれ、皆労の置い見地からそんな批別はもつと方法的に整へてもらりたいものです【宮霞=宋人等

要塞地帶撮影 天連支

東北跡 一、東海市産地といはれる 〇毎日出調名三卯条組織が近 東北跡 一、東海市産地といはれる 〇毎日出調名三卯発加速を設めた戦いよう 八一章とに励して十二日的治安が勝水立山東海洋・県航山の海豚も織の駅ありとして在歌歌山遊去遊分でした。 「一個人は京城子城の本中県部米人

萬圓のラヂウ

てこれさいゃと、開催一覧製やす。 高級大和町17、10四に住んであ んに代って光観に影響しながらラ 病死せる父の遺志で城大へ… 寄贈者に光榮の紺綬褒章下賜

時間別に除外

但し勅使供進使參向の時のみ

「防空演習時」と「秋祭」

珍しやカラ松に質りの秋

へられてゐるテウセンカラ

親交のあった結井騰郎

女師で「質験ご講演」

命生國

傑

の星座……は変変を関に死す、北町二郎 切讀

| 「「「「「「「」」」」。 | 「「「」」」。 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」 「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 水漬一屍松浦泉町

馬競城京

九月二十 -L

九月二十八日 H $\widehat{\pm}$ $\widehat{\mathbb{H}}$

隨入 意院 電話龍山三六番

記事の取材と表現

日本新聞協會八十級 窓科共)

戸腸 病

with my wonderfalling

寫眞帳謹作

皆勞に起つ老

關西行啓記念

典子女王と御命名

地米、外米、押麥は別配給

などの観影を加へるととになった

役立てで欲しいへと口降

言を科學する

半島よくさらば

建築法規 法修

に發送す至急車込あれるに配解に於ける重要法令 全 書

の大任全書である。日刷部版 の大任全書である。日刷部版 の大任全書である。日刷部版 新版二八〇頁、定度上製金を製画五倍差、加盟(教会) 一科書同)金献の八拾銭、 はい市街地計像令はこの側法 はい市街地計像令はこの側法

南傾合同電氣淋丸會

ローラーベアリング界の覇者 回之出べ 朝鲜營業所 支店A出現所

配産にして 量質共に 海内最高峯 値が表した





夫条唐 5 東城府明治町三丁回 電話本記 2622·2855 清津、咸興、大阪、東東



wa Ma







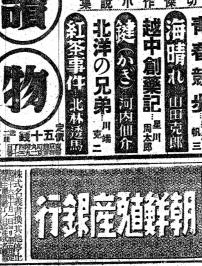


本町署の森山

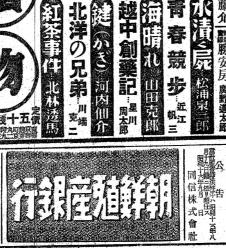
来してある店もあって、審査員

けふの天氣









塵埃の街を無くさう

岡崎町々民の清掃翼賛篇

面目にかけてもと

塵埃の街。感激後日譚

の第一が次子くこれを懸く聞き一変先交る歌劇批員は峨徹を突いて

終に水平の酸災を解決一路型なるその使命に悪饿者を覆騰を撃げつくあるが、されはその美し

足の臨戦に垂範 育】 | 等金田墓吉、二等 趣、三等三浦忠進【未数 等有木磐、二等中島登、 田寶

富豪が自家用車廢止

消火用ポンプ寄附

英麗が結ぶ隣組の絆

八曹幼稚園に集ふ二百名の在郷重

街の護り

櫻ケ丘に明朗愛國班

| 万町に僅かに一台の沿防自動車 | 當局が買收したもので新騰会

川巡査長男 岡崎町交

だり地に伏せたり歩をもつて戦 方すつかり級級してそれからは 組木総に置ってみつちり変感出 ものです。

の理能をしたのち、常覧口事に入

むる部屋が行

赤誠の蓖麻栽培

のが六圏、班長宅のお庭には何時

身を以つて實踐の張切り方 | 変 よ衣 の質能に甘一既員の先頭に立つて

フテリー豫注 供いるい

が金として五銭がを観り

同益々旱國白色の標びを聞め

割増金崩徴兵保険の提供精算拠式

習得した國語で 線~慰問文

意ですると統後婦人の表心からか人達は魔話を想得した感激と山本 七月から町内の栗國歌員 講習生の美はしい企て

20年 文田

二(三越東側上山)

カメラ中点交換、質人 內田寫眞機店

小林蕉郎



電話本(2)三四八・九一九番電話本(2)三四八・九一九番 島 電 島 田 崎 島 電

海貴來定價



















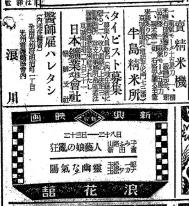












((()) 医朝日座



美容助手五、六名募集

東京美容院

特别案内

実



本局工一・大算及整理 一一・1000円 1000円 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 100

第四軒町三七 有 光 後個知せの方には無謝ヲ呈ス 光



亦葉明東旧 **冥基川白**山經 充义四三(3)話電

B

文化映書12-01 3,20 6,48 B 廃の合唱12,11 3,30 6,55 想ひ出の圓舞曲 1,52 5,12 8,37 廿四日ヨリ

を全ては左記へお知せ下さい。 一般の方は左記へお知せ下さい。





中四日より上映端開表 事 ひなき 真質 12.00 3.00 6.20 青 春 1.50 5.00 8.10





汗する憲兵でん一大麻栽培

きて、そばからたづれる公子

母草精製海貴來は二種の有

を合いれとなってゐる駅 ターナ、迷はず泉氷に衝服用





*
な。包圍戦近へ終了

本のにクレメンテンをが開き場の職 北方)の三時地帯内に関かる。 本のにクレメンテンをおったスオ メンテュクブリルキ なからの 灰赤 きのにクレメンテングからはフオ メンテュクブリルキ なから アンクレい かった ストラース からはフオ メンテュクブリルキ なからの 一変 からはフオ メンテュクブリルキ なからの 一変 かった ストラース かった アンドラース アンドラー

ではないかとみられてゐる、なほ

るさを保づためにだけ受用して頂き た知時に、心の鏡であるお顔の、 はりと唐をよつて、何時も美白な歌 はりと唐をよつて、何時も美白な歌

レオンは、既れ寝み前(反省の時間)にするのが本営だと思ひます。



へる戦闘力を失ってゐるから、モ

だ。皇重の質面目をみよ。 が。皇重の質面目をみよ。 が、皇重の質面目をみよ。

よ顔

大切なのは心の美醜で 顧なんか後ら綺麗だつてダメノ

をやつす様ではお酒茶になります。 が情操の酸鰈と云ふのでせう。 をやつす様ではお酒茶になります。 をやつす様ではお酒茶になります。 たいのが人情です。つまり壁かな美いと云ふ位は百も承知の筈なのに、矢

敵廿六軍を猛追 金井を完全占領 米海軍の實力

一五千は完全にわが樂籠。大包庸戦が展開されて、大包庸戦が展開されて、

全面的に發動せん

商工省、鑛山開發に萬全を期す

報信収量と天然の要素に加って際所にペトン式トーチカが誘導された一大統領領地であるが、機にあて供外権般を厳命し、これに九十九、 卅七、 廿六条 靴の竹六個種を単機中といはれる、

敵本據湘陰に迫る

二角塘、更鼓台を占領

| 原、松介、瀬田、二米などの各地、き頭に帰走する朝音用し、自由二|| 関、松介、瀬田、二米などの各地、音順な複雑しつとで後古県東安台|| 三世朝、全市大学中もフン地域|| 名明な複雑しつとで後古県東安台|| 1911年 | 1911

一萬五千袋の鼠

大湖嶺附近で大殲滅戦

大統領中立法の改訂。言明

號すでに武装

ハル長官否定

泰國民心漸次反日渗透

数) 廿四日

際深代長) 廿 配成受) 東上

(W

闡明

をものと たものと たものと

秋色一しほが條の雨に

の間は原州層附近から七百

圓の藥草

九月二十五日より

染 着 尺。友仙・模様付 色裾模様・御召・帶

身勝手な解釋で 公にたかる

簡素の美を求めて」・・・

腺炎・キュー 淋疾…の治療は

D P



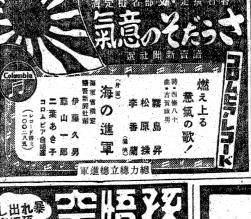
古本にも公定値段

産價の五倍以内で釘付け



第二・百花女國の卷第二・金角銀角の卷







街の清掃に總起ち 一萬の愛國班が 京城府·總力課が協力乘出す

幣送 / 緊急臨時措置

する南さん

指導者鰊成實習所で修了式

金剛山愛護團

南總督も臨所あす發展式

文部が

對校競技種目から

野球ラグビーを除外

の毎年しか差別日来ない所称、ラグビーが「RELはせのが戦略もせぬ」といる範囲なる身が耐からない。

いととになった、水年大衆に

六千圓を詐

工池翁の一行 かれて渡支

三根耕



新研究の放列

|糖賣職に寒豚大賣は甘一、11の刺「寒の窓内で配頭山神並に塗練の後」を辨いて養源疾足するととになっ||年襲電話||第廿九回朝賦後暴寮|||帯の駆粉鉛で釜山上蓋、鳴館肝線||と成業を得たので采月中にも側曹

金山東大山に自民臨日等校を帰郷、干川八は光い気が車で郷州帰國寺して同な現場東東に一時、廿二日「郷田北行した

中國革命の志

子屋 千家十職新作品





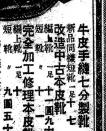


冬、背廣服御注文承り









現代名匠名作 茶道具展









理倫の妻

正順、徐一星、金斗機等である

大陸劇場

里芋のけし燒

なったとき砂糖



先づ胃腸

孔明は単上から腰揚にさういろ











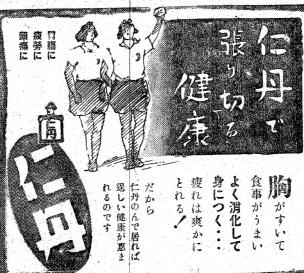


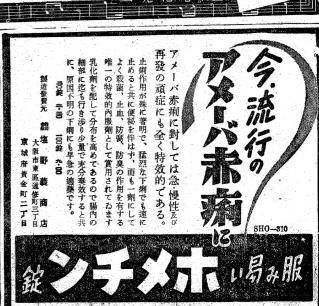




郎一 田月 郎八平川大

演主





線續準不

を眺めて顔を思ひます。空一へ顔を求めます。

もし朝鮮に一尺の生フキル

スリッパぬぐ時

命家庭メモア己

/ 簡史をバックに身を転

を拾って來たり、靴の医へ打つ金

すのとにあげて日光にあて、半転 しとします、これを熱い餌歌にち

中野和高洋畵展

廿六日から三越に開催

る文度作家の型に拘泥せざる氏の生気ある側隔が充分に物語ってある

んごうの花 秋を彩る

夫しいものではありませんが、ほしるやうなこともありません

白萬の少女が 代用食を採集 遊休勞力なき獨逸

人工鼓膜のこと

が、とれが一九三四年から全國に

貯へませう。 紫蘇の實を

吉川英治 矢野橋村()

國 (F [614]



證大 券原

6